西東京市告示第127号

令和4年西東京市告示第221号の全部改正について

令和7年7月1日

西東京市長 池 澤 隆 史

下記のとおり令和4年西東京市告示第221号の全部を改正する。

記

西東京市建築基準法施行細則(平成29年西東京市規則第7号。以下「細則」という。)第10条第1項及び第2項の規定に基づき、市長が別に定める調査の項目、方法及び結果の判定基準並びに調査結果表を次のように定める。

- 1 建築基準法(昭和25年法律第201号。以下「法」という。)第12条第1項に規定する調査は、細則第10条第1項の規定に基づき、別表ア欄に掲げる項目に応じ、同表イ欄に掲げる方法により実施し、その結果が同表ウ欄に掲げる基準に該当しているかどうかを判定することとする。
- 2 細則第10条第2項の規定に基づき、市長が別に定める調査結果表は、別記のとおりとする。

附則

この告示は、令和7年7月1日から施行する。

別表

| | | ア調 | 查項目 | イ 調査方法 | ウ 判定基準 |
|---|-----|-------|-------|---------|---------|
| 1 | (1) | 地盤 | 地盤沈下等 | 目視又はこれ | 建築物周辺に陥 |
| | | | による不 | に類する方法 | 没があり、安全 |
| 敷 | | | 陸、傾斜等 | (以下「目視 | 性を著しく損ね |
| 地 | | | の状況 | 等」とい | ていること。 |
| 及 | | | | う。) により | |
| び | | | | 確認する。 | |
| 地 | (2) | 敷地 | 敷地内の排 | 目視等により | 排水管の詰まり |
| 盤 | | | 水の状況 | 確認する。 | による汚水の溢 |
| | | | | | れ等により衛生 |
| | | | | | 上問題があるこ |
| | | | | | と。 |
| | (3) | 建築基準法 | 敷地内の通 | 目視等により | 敷地内の通路等 |
| | | 施行令(昭 | 路等の確保 | 確認する。 | が確保されてい |

| | 和 25 年政令 | の状況 | | ないこと。 |
|-----|--|-------------------|---|--|
| (4) | 第 338 号。 以下「令」 という。) 第 128 条に 規定する通 | 有効幅員の確保の状況 | 設計図書等に より確認し、 又は鋼製巻尺 等により測定 する。 | 敷地内の通路等 の有効幅員が不 足しているこ と。 |
| (5) | 、路建例年例以例う条項る通条規りび2す(部「通い、路建例年例以例う条項る通条規りび2す(部「通いた、築(東第下」。のに屋路第定付第項る以に敷路う)東安昭京8「と)4規外、2すき4に通下お地等。京全和都号条い第第定避第項る等条規路こい内」)。都条25条。 111す難23に寄及第定 のてのと | 敷地内の支 物の状況 | 目視等により確認する。 | 敷地内の通路等にと。 |
| (6) | 共同住宅等の主要な出入り口からの通路等 | 通路等の確保の状況 | 目視等により確認し又は鋼製巻尺等により測定する。 | 条例第 17 条 (条例第 73 条 においてき はあるを含 む。)の規定に 適合しないこ と。 |
| (7) | | 通路等の支 障物の状況 | 目視等により確認する。 | 通路等に支障物があること。 |
| (8) | 窓先空地及び屋外通路 | 窓先空地又は窓先の空間の確保の状況 | 設計図書等により確認し、又は鋼製巻尺等により測定する。 | 条例第 19 条第 1 項 |

| (9) | | 窓ら至屋は間バ等るかにのの況先道る外窓にルか直ら至屋確空路ま通先面コら通道る外保地等で路のすニ通階路ま通のかにの又空る一ず段等で路状 | 設計図書等に より確認 と は 鋼製 り 測 ま り ま る。 | 条例第 19 条第 2 項 第 4 項 (条 73 条 2 (第 73 条 2 (第 74 本 3) (本 3) (本 3) (本 3) (本 3)) と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 |
|------|----|---|---|---|
| (10) | | (窓窓ら至屋等空先面コら通道る外支況先先道る外、間のすニ通階路ま通障空空路ま通窓又空る一ず段等で路物地地等で路先は間バ等るかにの等の、かにの の窓にルか直ら至屋の状 | 目視等により 確認する。 | 条1窓項先等屋項先4窓す等通等屋物別項先に空に外にの項先るか階に外が別項先に空規地至通規空にのバら段至通あり定、すらま、す又定間コずらまにこくである道で第るはすに二る道で支とのである。 |
| (11) | 塀 | 組積造の 選は補明 ははリックロックの では では がある。 がある。 はは のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 | 設計図書等に より確認し、 又は鋼製巻尺 等により測定 する。 | 令第 61 条又は 令第 62 条の 8 の規定に適合し ないこと。 |
| (12) | | 組積はリンプの塀コト造の場で、現場では、カーシの場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現場で、現 | 目視等又は下げ振り等により確認する。 | 著しいひび割れ、破損又は傾斜が生じていること。 |
| (13) | 擁壁 | 擁壁の劣化 | 目視等により | 著しい傾斜若し |

| | | | 及び損傷の状況 | 確認する。 | くはひび割れが あること又は目 地部より土砂が 流出しているこ と。 |
|-------|------|-------------------------------|----------------------------------|---|--|
| | (14) | | 擁壁の水抜きパイプの維持保全の 状況 | 目確認にないのでは、との必要によるの必要がある。との必要がしている。 | 水抜きパイプに 詰まりがあるこ と。 |
| | (15) | がけ | がけの安全 上の支障の 状況 | 目視等又は必 要に応じて鋼 製巻尺等によ り測定する。 | 条例第6条第2項の規定に適合しないこと。 |
| | (16) | 敷地に直接 設置した広 告塔及び広 告板 | 広告塔及び 広告板本体 の劣化及び 損傷の状況 | 目視等により確認する。 | 広告塔及び広告 板本体に著しい さび又は腐食が 発生しているこ と。 |
| | (17) | | 支持部分等 の劣化及び 損傷の状況 | 目視等及び手 の届く範囲を テストン打診 等により確認 する。 | 支持部分に緊結 不良があること 又は緊結金物に 著しいさび、腐 食等があるこ と。 |
| 2 建築物 | (1) | 基礎 | 基礎の沈下等の状況 | 目視等及び建具の開閉具合等により確認する。 | 地盤沈下に伴う 著しいび割れ があること又は 建具開閉等に支 障があること。 |
| の外部 | (2) | | 基礎の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等により確認する。 | 礎石にずれがあ ることと クリー若しに 筋露出若しくは 著しい 大損等があ ること。 |
| | (3) | 土台(木造に限る。) | 土台の沈下 等の状況 | 目視等及び建 具の開閉具合 等により確認 する。 | 土台にたわみ、 傾斜等があるこ と又は建具開閉 に支障があるこ と。 |
| | (4) | | · · | 目視等及び手 の届く範囲を | 木材に著しい腐 朽、損傷若しく |

| | | | 状況 | テストハンマ ーによる打診 等により確認 する。 | は虫害があるこ と又は緊結金物 に著しいさび、 腐食等があるこ と。 |
|------|----|-----------------|---|--|--|
| (5) | 外壁 | く体等 | 外壁、 壁、外壁で がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる | 設計図書等により確認する。 | 法第23条、第 25条若しくは第 61条又は条例第 11条の2の規定 に適合しないこ と。 |
| (6) | | | 木造の外壁 く体の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等により確認する。 | 木材は傷をとこれでは、大村は鬼に著名をはいる。 |
| (7) | | | 組積造の外 壁く体の劣 化及び損傷 の状況 | 目視等により確認する。 | れんが、石等に 割れ、ずれ等が あること。 |
| (8) | | | 補強 リッ サッ サッ サッ は 大 が が り が り り り り り り り り り り り り り り り | 目視等により 確認する。 | 目地モルタルに 著しい欠落があ ること又はブロック積みに変位 等があること。 |
| (9) | | | 鉄骨造の外 壁く体の劣 化及び損傷 の状況 | 目視等により確認する。 | 鋼材に著しいさ び、腐食等があ ること。 |
| (10) | | | 鉄リびコトく及状コト骨クのの損の人の場の場が、 | 目視等により確認する。 | コンクリート面 に鉄筋露華、 で割れ、欠損等 があること。 |
| (11) | | 外装仕 上げ材 等 | るものを除 | 開口隅部、水 平打継部、斜 壁部等のうち 手の届く範囲 をテストハン | 外壁タイル等に 剥落等があるこ と又は著しい白 華、ひび割れ、 浮き等があるこ |

マーによる打 と。 診等(無人航 空機による赤 外線調査であ って、テスト ハンマーによ る打診と同等 以上の精度を 有するものを 含む。以下こ の項において 同じ。) によ り確認し、そ の他の部分は 目視等により 確認し、異常 が認められた 場合にあって は、全面打診 等(落下によ り歩行者等に 危害を加える おそれのある 部分の全面的 な打診等をい う。以下この 項において同 じ。) により 確認する。た だし、竣工 後、外壁改修 後又は全面打 診等を実施し た後 10 年を超 え、最初に実 施する定期調 査等にあって は、全面打診 等により確認 する(3年以 内に実施され た全面打診等 の結果を確認 する場合、3 年以内に外壁 改修等が行わ

ルタル等の 劣化及び損 傷の状況

| | | | | | れることが確 | |
|-----------------|------|----|------------|------------------------------|------------------|-------------------------|
| | | | | | 実である場合 又は別途歩行 | |
| | | | | | 者等の安全を 確保するため | |
| | | | | | の対策を講じ | |
| | | | | | ている場合を | |
| | (12) | - | | 乾式工法に | 除く。)。 目視等により | ひび割れ、欠損 |
| | | | | よるタイ | 確認する。 | 等があること。 |
| | | | | ル、石ばり 等の劣化及 | | |
| | | | | び損傷の状 | | |
| | | | | 況 | | |
| | (13) | | | 金属系パネル(帳壁を | 目視等により 確認する。 | パネル面又は取 合い部が著しい |
| | | | | 含む。)の | | さび等により変 |
| | | | | 劣化及び損 | | 形しているこ |
| | (14) | - | | 傷の状況 コンクリー | 目視等により | と。 さび汁を伴った |
| | (11) | | | ト系パネル | 確認する。 | ひび割れ、欠損 |
| | | | | (帳壁を含 | | 等があること。 |
| | | | | む。)の劣 化及び損傷 | | |
| | | | | の状況 | | |
| | (15) | | 窓サッ シ等 | サッシ等の 劣化及び損 | 目視等又は開 閉により確認 | サッシ等の腐食 又はネジ等の緩 |
| | | | → 4 | 傷の状況 | する。 | みにより変形し |
| | (10) | - | |).1. \1 \XII. 1 \\ \text{dr} | <u> </u> | ていること。 |
| | (16) | | | はめ殺し窓のガラスの | 触診により確認する。 | 昭和 46 年建設 省告示第 109 号 |
| | | | | 固定の状況 | mu. / 30 0 | 第3第4号の規 |
| | | | | | | 定に適合してい |
| | (17) | | 外壁に | 機器本体の | 目視等により | ないこと。 機器本体に著し |
| | ` , | | 緊結さ | 劣化及び損 | 確認する。 | いさび又は腐食 |
| | (18) | - | れた広 告板、 | 傷の状況 支持部分等 | 目視等又は手 | があること。 支持部分に緊結 |
| | (10) | | 空調室 | 又行部分寺 の劣化及び | 日祝寺又は子 の届く範囲を | 不良があること |
| | | | 外機等 | 損傷の状況 | テストハンマ | 又は緊結金物に |
| | | | | | ーによる打診 等により確認 | 著しいさび、腐 食等があるこ |
| | | | | | する。 | と。 |
| 3 | (1) | 屋上 | :面 | 屋上面の劣 | 目視等により | 歩行上危険なひ |
| 屋 | | | | 化及び損傷 の状況 | 確認する。 | び割れ若しくは 反りがあること |
| ı / | | I | | 1 2 2 2 2 | ı | |

| 上及び | | | | | 又は伸縮目地材 が欠落し植物が 繁茂しているこ |
|-----|-----|-----------------------|---|--------------------------------------|--|
| 屋根 | (2) | 屋上周り (屋上面を 除く。) | パラペット の立ち上が り面の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等及びテストハンマーによる打診等により 確認する。 | と。 モルタル等の仕 上げ材に著しい 白華、ひび割れ 等があること又 はパネルが破損 |
| | (3) | | 笠木モルタ ル等の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等及びテストハンマーによる打診等により確認する。 | していること。 モルタル面に著 しいひび割れ、 欠損等があるこ と。 |
| | (4) | | 金属笠木の 劣化及び損 傷の状況 | 目視等及びテストンマー による打診等 により確認する。 | 笠木は悪さな に著しるとと にとる があまな を木あり の の の の の の の の の の の の の の の の の の の |
| | (5) | | 排水溝(ド レーンを含 む。)の劣 化及び損傷 の状況 | 目視等及びテストンマー により確認する。 | 排水溝のモルタ ルに著しいひび 割れ、浮き等が あること。 |
| | (6) | 屋根 | 屋根の防火対策の状況 | 設計図書等により確認する。 | 防防築っ条し平京号す築っ条にと火火物てのな成市にる物て第適と地地のは規い29 示い域屋法軍しはのに6適と再第て内根第のと1合。と西第1のに22規いまま。 |
| | (7) | | 屋根の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等又はテ ストハンマー による打診等 により確認す | 屋根ふき材に割 れがあること又 は緊結金物に著 しい腐食等があ |

| 1 | | ĺ | | I | z | ステ レ |
|----------|-----|-------|---------------------------|---|--|--|
| | (8) | 作物 塔設 | 及び工 の(冷却 は備、広 等) | 機器、工作 物本体及び 接合部の劣 化及び損傷 の状況 | る。 目視等及びテ ストハンマー による打診等 により確認す る。 | ること。 機器若体と 作的とと を基との はこび で を を を と の に で の に で の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 |
| | (9) | | | 支持部分等の劣化及び損傷の状況 | 目視等及びテストンマー により確認する。 | 支持を表して、大きのでは、まないでは、大きのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない |
| 4 建築物の内部 | (1) | 防火区画 | | 条第 11 項か 頁までに規定 の状況 | 設計図書等により確認する。 | 令項ま合た129のれ避影繕(」行場 第かでしだ9のれ避影繕(」行場 第規い、の定か安を模下いれを 第項にと第第適、性ぼ替修。いく のは、単響や以とわ合 のにか安を模下いれを がっ全及様「うて除 |
| | (2) | | 第4項、 第7項か | 条第1項、 第5項 第3項 第第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 | 設計図書等により確認する。 | 令項 5 7 項 129 のれ避影繕いっを条 第、項項ま 9 のれ避影繕いっを条 条項く第令第、難響等なて除例 条項と第令第一、難響等なて除例 を項と第一、第一、 第、は 1 第第 1 用全能すれに 7 又 2 5 条 |

| 1 1 | | | の規定に適合し |
|-----|-----------------|-------------|------------------------|
| | | | ないこと。 |
| (3) | 今第 112 条第 18 項等 | 設計図書等によ | 令第 112 条第 18 |
| | に規定する区画の状況 | り確認する。 | 項又は条例第10 |
| | | | 条の5、第30 |
| | | | 条、第38条、 |
| | | | 第 39 条若しく |
| | | | は第 48 条から |
| | | | 第 51 条まで |
| | | | (令第 129 条第 |
| | | | 1項の規定が適 |
| | | | 用され、かつ、 階避難安全性能 |
| | | | に影響を及ぼす |
| | | | 修繕等が行われ |
| | | | ていない場合に |
| | | | あっては、条例 |
| | | | 第 48 条を除 |
| | | | き、令第 129 条 |
| | | | の2第1項の規 |
| | | | 定が適用され、 |
| | | | かつ、全館避難 |
| | | | 安全性能に影響を及ぼす修繕等 |
| | | | が行われていな |
| | | | い場合にあって |
| | | | は、令第 112 条 |
| | | | 第 18 項並びに |
| | | | 条例第 48 条及 |
| | | | び第 49 条を除 |
| | | | く。)の規定に |
| | | | 適合しないこ |
| (4) | 条例第8条に規定す | 設計図書等に | <u>と。</u> 条例第8条の規 |
| (4) | | より確認す | 定に適合しない |
| | | る。 | こと。ただし、 |
| | | 9 0 | 令第 129 条の 2 |
| | | | 第1項の規定が |
| | | | 適用され、か |
| | | | つ、全館避難安 |
| | | | 全性能に影響を |
| | | | 及ぼす修繕等が |
| | | | 行われていない 場合を除く。 |
| (5) | 防火区 令第 112 条 | 設計図書等に | 場合を除く。 令第 112 条第 16 |
| | 画の外 第 16 項に | より確認す | 項又は第17項 |
| ı I | 1 | · / / / / / | 2.12.1.1.214 = 121 |

| | 周部 | 規定する外 壁等及び項 条第17項 に規定するの別 | る。 | の規定に適合しないこと。 |
|------|---------------------------------|--|-------------|---|
| (6) | | 処令第規壁条に防劣傷置第16す及17す備び光状2に外同するの損状の状況 | 目視等により確認する。 | 令第 112 条第 16 項に規定する外 壁等、同条第 17 項に規定する防 火設備に損傷が あること。 |
| (7) | 壁 の 室 内 に 面 す | 木造の壁の 室内に面の分の るの劣化 が損傷の状 況 | 目視等により確認する。 | 木材に著名とこれでは、大村に著名を表している。 |
| (8) | る 部 分 | 組積造の壁 の室内では の一本のの の一本の の一本の の一本の の一本の の一本の の一本の の一 | 目視等により確認する。 | れんが、石等に割れ、ずれ等があること。 |
| (9) | | 補 リッの す の で を で の に 分 の に の の に の の の に の の の の の の の の の の の の の | 目視等により確認する。 | 目地モルタルに 著しい欠落があ ること又はブロ ック積みに変位 があること。 |
| (10) | | 鉄骨造の壁 の室内に面 する部分の く体の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等により確認する。 | 鋼材に著しいさ び、腐食等があ ること。 |
| (11) | | 鉄筋コンク リート造及 び鉄骨鉄筋 コンクリー | 目視等により確認する。 | コンクリート面 に鉄筋露出又は 著しい白華、ひ び割れ、欠損等 |

| | | ト造の壁の 室内に面する部分化及 体の劣化及 び損傷の状 | | があること。 |
|------|----------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| (12) | 耐の準造(画す限 株又火壁火構壁。 | 等の確保の状況 | 設 計 図 書 等 す る 。 | 次れこ(1) 第項ま項条のさ全性及がなっ項の防時準い) 第111 適つ安響繕でに第くに画条のかと) 第項ま項条のさ全性及がなっ項の防時準い) 第111 適つ安響繕でに第くに画条各に。令1かで(の規れ館能ぼ行いてを規火間にこ令7項9項用、全を等いあ7。よ の号該 第項ら又令2定、避にすわ場は除定区準適と第項(条のさ全性及がなっ項)る令規の当 1、第は第第がか難影修れ合、くに画耐合。1又令の規れ館能ぼ行いてをの防第定の当 1、第は第第がか難影修れ合、くに画耐合。1又令の規れ館能ぼ行いてをの防第定がす 2 第6第11 適つ安響繕でに第。よ 火し 2 は第 2 定、避にすわ場は除規火1にずる 条4項18 |

| | | | 合と)第第又(の規れ館能ぼ行いて項項くに画条にこし。令113は令2定、避にすわ場はかま。よ の適とな 第項項162定、避にすわ場はかま。よ の適とい 11かま62項用、全を等いあ113除規火10規なこ 22らで項条のさ全性及がなっ 定区7定い条。で項条のさ全性及がなっ |
|------|--|---|---|
| (14) | 部及状鉄被及状の損のの損のの損のの損のの損のの損のの損のの損のの損のの損ののが損ののの損ののの損ののの損ののの損のののののの | 目確 設よ法項づに1基要のわ点るて等に視認 計り第のく法項づし修れ検場はかよ等す 図確 1規調第のくな繕、口合、らりにる 書認条定査6規確い等か等に点目確よ。 等し第に以条定認規がつがあ検視認り に、1基後第にを模行、あっ口等すり | 各部が耐れがことのりではとのりではとのりである。 |
| (15) | 給水管、配 電管その他 | る。 設計図書等に より確認し、 | 令第 112 条第 20 項若しくは第 21 |

| | | の管又は風 道の区画貫 通部の充填 等の処理の 状況 | 修 修 終 等 が 等 の が の が の が の が の に 点 目 視 に の に は に に は に に に に に に に に に に に に に | 項、令第 129 条 の 2 の 4 又は条 例第 74 条の規 定に適合しない こと。 |
|------|--------------------------------|---|---|--|
| (16) | 令11にす壁仕及壁 第条定界間壁隔 | 令第 114 条 に規定、間 界壁、間仕 切壁及状況 壁の状況 | 設よ修れ検場はかよる野のでは、お点るで等に、お点るで等に点目確認がのがあ検視認ののはいかののであります。 | 令第 114 条の規 定に適合しない こと。 |
| (17) | 令12の項規る物のにる第85等定建の室面部条各にす築壁内す分 | 室る上保内部が全のの維状を関すのがあります。 | 設計確認する。 | 令又条第は第1用区能すれ合第適つ性ぼわ合条規れ避影繕いっ1287、7第1項さ画に修て、1用、能すれ又の定、難響等なて8別75名条規、難響等な第のれ避影繕い令第適つ全及行場、条第条し(6がつ全及行場の1規、難響等な第1用、性ぼわ合令の1、く令第適、性ぼわ 条が 全及行場りの 館に修てあ |

| | | | | | 128条第及部並条がでいいののででは、現る定は、分び階を定規にのののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、では、のののでは、では、ないでは、では、ないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で |
|------|---|----------------------------|---|---------------|--|
| (18) | 床 | く体等 | 木造の床く 体の劣化及 び損傷の状 況 | 目視等により確認する。 | 木材はとことに変しているとに変している。 |
| (19) | | | 鉄骨造の床 く体の劣化 及び損傷の 状況 | 目視等により確認する。 | 鋼材に著しいさ び、腐食等があ ること。 |
| (20) | | | 鉄リびコト体び況コト骨のの場のの場のの場のの場のの場のの場のの場のの場ののの場のののののののののの | 目視等により確認する。 | コンクリート面 に鉄筋露出又は 著しい白華、ひ び割れ、欠損等 があること。 |
| (21) | | 耐の準造(画す限大味耐の防をるるのでは、大味火構床) | | 設計図書等により確認する。 | 次 の か と の い さ に の の の い さ の の の の の の の の の の の の の |

| • | • | | |
|---|---|--|--------------|
| | | | 全館避難安全 |
| | | | 性能に影響を |
| | | | 及ぼす修繕等 |
| | | | が行われてい |
| | | | ない場合にあ |
| | | | っては、第 18 |
| | | | 項を除く。) |
| | | | の規定による |
| | | | 防火区画 1 |
| | | | 時間準耐火基 |
| | | | 準に適合しな |
| | | | いこと。 |
| | | | (2) 令第 112 条 |
| | | | 第7項又は第 |
| | | | 10 項(令第 |
| | | | 129条の2第 |
| | | | 1項の規定が |
| | | | 適用され、か |
| | | | つ、全館避難 |
| | | | 安全性能に影 |
| | | | 響を及ぼす修 |
| | | | 繕等が行われ |
| | | | ていない場合 |
| | | | にあっては、 |
| | | | 第7項を除 |
| | | | く。)の規定 |
| | | | による防火区 |
| | | | 画 令第 107 |
| | | | 条の規定に適 |
| | | | 合しないこ |
| | | | と。 |
| | | | (3) 令第 112 条 |
| | | | 第 11 項から |
| | | | 第 13 項まで |
| | | | 又は第 16 項 |
| | | | (令第 129 条 |
| | | | の2第1項の |
| | | | 規定が適用さ |
| | | | れ、かつ、全 |
| | | | 館避難安全性 |
| | | | 能に影響を及 |
| | | | ぼす修繕等が |
| | | | 行われていな |
| | | | い場合にあっ |
| | | | ては、第 11 |
| | | | 項から第 13 |
| | | | |

| (22) | | | 部及状給電の道通等状材び況水管管の部の況の損 管そ又区の処化の 配他風貫填の | 目確 設よ修れ検場はかよる等す 図確等か等に点目確にる 書認がつがあ検視認よ。 等し行、あっ口等すり に、わ点るて等に | 項くに画条にこ部にる第若、2第にと をの防第のし び破。条第129年の が第のし び破。条第129年の をの防第のしが破。条第21 をの防第のしが破。条第21 をのなる。及やと22年のなる。 をのなる。 をのは、第第9は規い |
|------|----|---------------------------------|---|---|--|
| (24) | 天井 | 令12の項規る物井内す分第85等定建ののにる条各にす築天室面部 | 室のおけるのは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の | 設り確認する。 | 令又条第は第1用区能すれ合第適つ性ぼわ合条規れ避影繕第は、73第128回に修て、1用、能すれ又の定、難響等8例72若条規、難響等な第のれ避影繕い令第適つ全及行条第条し(6がつ全及行場9定か安をがい1項さ全能すれの1、く令第適、性ぼわ条が全及行場9のの1、く令第適、性ぼわりをがいなをがい1項さ全能すれ |

| | | | | いっ12項7係規第学校つ部及(分規のなっなて8、項る定1校に、分び階を定規いいは条第及部並条及限階を第段除を定こり、の6び分び条びり段除7にく除にとて合う第、段外条修建か係。条る)。合む、2第にの例修学 る) 部の)し |
|------|--|--|----------------------------|--|
| (25) | | 室内に面する部分の劣化というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 目視等又はテストンではいる。 | 室内に正上が等にのといるのでは、本者においるのでは、本者においるのでは、というのでは、というのでは、これので |
| (26) | 特定天井 | 特定天井の 天井材の劣 化及び損傷 の状況 | 目視等により確認する。 | 天井材に腐食、 緩み、外れ、欠 損、たわみ等が あること。 |
| (27) | 防火設備 (防火扉、 防火シャッ ターその他 | 区画に対応 した防火設 備又は戸の 設置の状況 | 目視等及び設 計図書等によ り確認する。 | 令第 112 条第 19 項の規定に適合 しないこと。 |
| (28) | こす限こいじ戸11項掲限にの以に 又第第号戸以ば類に下お は 19にに下い類にでする。 ままにの以に ス第第号戸以ば は 19にに下いる は 19にに下れる 19には 19には 19には 19には 19には 19には 19には 19には | 居上主下のにた又け戸状でか通る階の置火戸く設らず廊段通さ設にぐ置地る。そ路れ備おりの | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 令第 112 条第 19 項の規定に適合 しないこと。 |
| (29) | この表にお いて同 | 昭和 48 年 建設省告示 | 常時閉鎖した状態にある防 | 昭和 48 年建設 省告示第 2563 |

| | | テ 「常閉防火 」とい う う。) にあっ | 号第1第1号に 第1第に 1号に 2日に 2日に 2日に 3日に 3日に 3日に 3日に 3日に 3日に 3日に 3 |
|------|-------------|-----------------------------|--|
| (30) | 防火扉又は戸の開放力向 | は目視等及び設 | 令項項3(1用階に修てあ項内ーずるる令 第第第項令項さ避影繕いっ第か又る部。第 条、又号条がつ性ぼわ合第(コにに 等第は 条、又号条がつ性ぼわ合第(コにに をの 第第は 条、以 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の |

| | | | 第適つ全及行場は号号1のなのれ館に修てあ12第にを定してあります。合定が難響等なて第第項。合定が難響等なて第第項。合がという。 |
|------|--|--|--|
| (31) | 常ししあ備本劣傷のは状防はと及状防はと及状のはと及状のの負担を | 目視等により確認する。 | 常はに若化りく支と、と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は |
| (32) | 各な若動に設のく状的常ししあ備閉は況の時くたる又鎖作記別は状防は若動要鎖作態火戸しの | 各常く状火のはすしに検るて録すり階時は態設閉作る、実の場はにるるの閉作に備鎖動。3施記合、よこ。主鎖動あ又若をた年し録に当りと要若しるはし確だ以たがあ該確で要若しるはし確だ以たがあ該確でなした防戸く認 | 各階の鎖し防が閉動を対したが閉動を対したが閉動を対したが閉動したが閉動したが関連したがはいません。 |
| (33) | 常ししあ備閉は状防は若動に設のく障物 | 目視等により 確認する。 | 物にはいるでは、おいりには、おいりには、はいりには、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、はいいのでは、いいので |

| | | 品の放置並 びに照明器 具及び懸垂 物等の状況 | | と。 |
|------|---------------|--|---|---|
| (34) | | 常時閉鎖にある防火の固定の状況 | 目視等により確認する。 | 常時閉鎖した状態にある防火扉又は戸が開放状態に固定されていること。 |
| (35) | | 各階の主要 の常時間に をおけれる の取付けの 状況 | 各階の主要な 常時間あるける が が が が が が が が が が が り で り で り り り り り | 各階の主要な常 時閉鎖した状態 にある防火扉の 取付けが堅固で ないこと。 |
| (36) | 照明器具、 懸垂物等 | 照明器具、 懸垂物等の 落下防止対 策の状況 | 目視等又は触 診により確認 する。 | 照明器具又は懸 垂物に著しいさ び、腐食、緩 み、変形等があ ること。 |
| (37) | 警報設備 | 警報設備の設置の状況 | 目計りた以た231条規点防点うあっ記認足視図確だ内消年6の定検法検。るて録すり等書認しに防法号3に(に」)場はにるる及等す、実法律第の基下基と記合、よこ。びにる6施昭第13づ「づい録に当りと設よ。月し和 | 令第110条の5の規定に適合しないこと。 |
| (38) | | 警報設備の 劣化及び損 傷の状況 | 目視等により 確認する。た だし、6月以 内に実施した 消防法に基づ | 警報設備に著しい腐食、変形、 損傷等があること。 |

| (39) | スラ(国告号号号すン備プー令土示第又ニるク)リ設和交第1はにスラン備6通28412定リ設ク 年省412定リ設 | スプリンクラー設備の設置の状況 | くがあ該確で目計りた以たづ録に当り点あっ記認足視図確だ内消くがあ該確検るて録すり等書認しに防点あっ記認の場はにるる及等す、実法検るて録す記合、よこ。びにる6施にの場はにるる録に当りと一設よ。月し基記合、よこ | 火くに設いのよ若支との散要さと囲火くがある。との数では、とのがない。との災はあるがながながにあれるがはある。 |
|------|--|--------------------------------|---|---|
| (40) | | スプリンク ラー設備の 劣化及び 傷の状況 | と目確だ内消くがあ該確で、と目確だ内消くがあ該確で見いて視認しに防点あっ記認足りにる6施にの場はにるるのよ。月し基記合、よこ。のた以たづ録に当りと | スプリンクラー ヘッドに著しい 腐食、変形、損 傷等があるこ と。 |
| (41) | 居室の採光 及び換気 | 採光のため の開口部の 面積の確保 の状況 | 設計図書等に より確認し、 又は鋼製巻尺 等により測定 する。 | 法第 28 条第 1 項又は令第 19 条の規定に適合 しないこと。 |
| (42) | | 採光の妨げ となる物品 の放置の状 況 | 目視等により確認する。 | 採光の妨げとなる物品が放置されていること。 |
| (43) | | 換気のため の開口部の 面積の確保 の状況 | 設計図書等により確認し、又は鋼製巻尺等により測定する。 | 法第 28 条第 2 項、令第 20 条 の 2 又は令第 20 条の 3 の規定に 適合しないこ と。 |

| (44) | | 換気設備の設置の状況 | 設計図書等により確認する。 | 法第 28 条第 2 項若しくは第 3 項、令第 20 条 の 2 又は令第 20 条の 3 の規定に 適合しないこ と。 |
|------|--------------|--|-----------------------------------|--|
| (45) | | 換気の妨げ品 の放置の放 の放 の放 の の の の の の の は に り は に り は に り は に り に り に り に り に り | 目視により確認する。 | 換気の妨げとなる物品が放置されていること。 |
| (46) | 石綿等を添加した建築材料 | 吹及ロル有の該の0.ンる下石い使付びッです重建重1トも「綿う用け吹クそる量築量パをの吹等。の石が材の一超(付」)状綿け一含綿当料 セえ以けとの況 | 設計図書、分る関に、分のでは、のでは、のででは、のでででできます。 | 平成 18 年国土 交通省告示第 1172 号各号に定 める石綿をした かじ終材料をと していること。 |
| (47) | | 吹付け石綿等の劣化の状況 | 3年以内に実施した劣化状況調査の結果 を確認する。 | 表あれり浮あは別のがいる場所である。、、、きる以間がらいる。これではいいでは、これでがいるがのがる。とのではいいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ |
| (48) | | 除いくめ散の と と と は に の で の に に る に る に に に に に に に に に に に に に | 目視等により確認する。 | 次に掲げれと名に掲げれる単数合の当りは場がの当りは場合のは場合のは、はのの当のは、はのの当のは、はのは、はのは、はののののでは、はのののののでは、は、は、は、は、は、は、 |

| |] |] | | 面積の合計が |
|--|------|-------|--------|------------|
| | | | | |
| | | | | 令第 137 条に |
| | | | | 定める基準時 |
| | | | | (以下「基準 |
| | | | | 時」とい |
| | | | | う。)におけ |
| | | | | る延べ面積の |
| | | | | 2分の1を越 |
| | | | | える増築若し |
| | | | | くは改築を行 |
| | | | | った場合の当 |
| | | | | 該部分以外の |
| | | | | |
| | | | | 部分又は大規 |
| | | | | 模の修繕若し |
| | | | | くは大規模の |
| | | | | 模様替えを行 |
| | | | | った場合の当 |
| | | | | 該部分におい |
| | | | | て、吹付け石 |
| | | | | 綿等の除去を |
| | | | | していないこ |
| | | | | ی ح |
| | | | | (2) 増築若しく |
| | | | | は改築に係る |
| | | | | 部分の床面積 |
| | | | | の合計が基準 |
| | | | | |
| | | | | 時における延りては、 |
| | | | | べ面積の2分 |
| | | | | の1を超えな |
| | | | | い増築若しく |
| | | | | は改築を行っ |
| | | | | た場合の当該 |
| | | | | 部分以外の部 |
| | | | | 分又は大規模 |
| | | | | の修繕若しく |
| | | | | は大規模の模 |
| | | | | 様替えを行っ |
| | | | | た場合の当該 |
| | | | | 部分以外の部 |
| | | | | |
| | | | | 分において、 |
| | | | | 吹付け石綿等 |
| | | | | の除去、封じ |
| | | | | 込め又は囲い |
| | | | | 込みをしてい |
| | | | | ないこと。 |
| | (49) | 囲い込み又 | 目視等により | 石綿飛散防止剤 |
| | | | | |

| | | | は封じ込め による飛散 防止措置の 劣化及び損 傷の状況 | 確認する。 | 又は囲い込み材 に亀裂、剥落等 の劣化又は損傷 があること。 |
|---------|-----|-------------------------------|--|---------------|---|
| 5 避難施設等 | (1) | 令第120条 第2項に 場 定 等 | 令第20条第2項る確保の発見の発見の発見の発見の発見の発見のである。 | 設計図書等により確認する。 | 令は例122つ能修い第項れ難を行合第第除適第第第9が、に繕な120 規か全ぼれあり条条の、に繕な120 規か全ぼれあり条条条1 さ難を行合のが、能修いて及第のいとは第月避響が場条定つ性すてっ条第のいとは第月に差なはび号規としは第規が性すて令1 さ避響が場令例 とにとく条 規が性すて令1 さ避響が場合例をに |
| | (2) | 廊下 | 幅の確保の状況 | 設はいる。 | 幅又条条条第適つ性ぼわ合令に及除条規れ避影がはの若(1用、能すれに第条びきの定、難響令条4し令項さ階に修てあ1例第、2がか安を第例、く第のれ避影繕いつ9第4令第適つ全及第第は12規、難響等なて条2条1項さ全能す条064条が 全及行場、び条を9の 館に修 |

| | (3) | | 行を上まりまりの状況 | 設計図書等により確認する。 | 繕いく適と条8しだ(のむじ12は第適つ性難響等なく等な。合。例のなし義前。。9第1用、能安をがい。がい)し 第規い、務期以)条1項さ階又全及行場わ合規い 1定こ小教課下で第9のれ避は性ぼわ合れを定こ 条適。校学を 第項の定か安館に修て除れを定こ の合た 校含 又2が 全避影繕いて除に |
|---|-----|------|------------|--------------------|--|
| (| (4) | | 物品の放置の状況 | 目視等により確認する。 | 避難の支障となる物品が放置されていること。 |
| | (5) | 出入口等 | 出入口等の確保の状況 | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 令124 若 125 例、23、45 第第集 125 例、23、45 第第集 125 例、23、45 第第条 43 第第条 43 第条 43 第条 43 第条 43 第条 50 条 第一性ぼわ合第第 124 第 125 126 127 128 129 128 129 129 130 140 150 150 160 160 160 160 160 160 160 160 160 16 |

| (6) | | 物品の放置の状況 | 目視等により | び条る条4きの定か安をがいは第12び条4条る条4条号第を定こ物でり支に(。第号、2がつ全及行場、15第例第(。第号第、5除にと品い扉障条小)1ま令第適、性ぼわ合令項条3第1小)1ま1第2(適。がる等が例学及号で第1用全能すれに第並第項1項学、号で項4第。合善放このあ第校びかを1項さ館に修てあ1び1並2、校第か、第号2のな善さに閉このを3限4第二条規、難響等なて条第及にの13限3第46で項規いれよに |
|-----|------|------------|--------------------|--|
| (7) | 屋上広場 | 屋上広場の確保の状況 | 目視等及び設計図書等により確認する。 | と。 令第 126 条条 24 条 51 第 第 24 条 51 第 第 6 年 第 第 6 年 8 年 8 年 8 年 8 年 8 年 8 年 8 年 8 年 8 年 |

| (8) | 避難上有効なバルコニ | 避な一上ルらま避避(19項るを難バ及有コ直で難難条条をも上ルび効ニ通安で経例第適の気がな一階全き路第3用にの効ニ難がか段にる。する | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 第51条第4号 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) |
|------|------------|---|--------------------------------------|---|
| (9) | | る。) の確 保の状況 手すり等の 劣化及び損 傷の状況 | 目視等及びテ ストハンマー による打診等 により確認す | 著しいさび又は 腐食があるこ と。 |
| (10) | | 物品の放置の状況 | る。 目視等により 確認する。 | 避難に支障となる物品が放置されていること。 |
| (11) | | 避の況等階全き路状第3す限難設及か段にるの況1項るる具の器直で難難保条第適の)具の器直で難難保条第適の) | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 令第 121 条又は 条例第 7 条の 2、第 19 条、 第 37 条若しく は第 73 条の規 定に適合しない こと。 |
| (12) | | 避難器具の操作性の確保の状況 | 目視等及び作動により確認する。 | 避難ハッチが開 閉できないこと 又は避難器具が 使用できないこ と。 |
| (13) | 階階段 | 直通階段の | 目視等及び設 | 令第 120 条、第 |

| | 段 | 設置の状況 | 計図書等により確認する。 | 121第例第条し(1用階に修ては2がつ全及行場は並条1び号で規い1997年、1991年、199 |
|------|---|---------|--|---|
| (14) | | 幅の確保の状況 | 設計の書等に、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 令24 年 23 年 24 年 24 年 25 年 24 年 25 年 26 年 27 |

| | | | | れ避影繕いっ条条1を定こ 会能に修てあ4に 会がいは1第及く適い が安をがいは1第及く適い がよう第単条2のな がよう第が条2のな がよりにと がよりにと がよりにと がよりにと がよりにと がった。 のな |
|------|------------|----------------|-----------------------|---|
| (15) | | 手すりの設置の状況 | 目視等により 確認する。 | 令第 25 条の規 定に適合しない こと。 |
| (16) | | 物品の放置 の状況 | 目視等により確認する。 | 通行に支障となる物品が放置されていること。 |
| (17) | | 階段各部の劣化及び損傷の状況 | 目視等、触診及び設計図書等により確認する。 | に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
| (18) | 屋内に設けた避難階段 | 階段室の構造の状況 | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 令項の定か安をがいはびく適 第123第129の 条1第項さ館に修てあ 第項さ館に修てあ 1条規、難響等なて及 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に |

| | 1 | | | と。 |
|------|--|--|--|--|
| (19) | 屋外にらいた。というでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般 | 屋内と階のと間のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の状況 | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 123 第129 第129 第129 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 第1年 |
| (20) | | 開放性の確 保の状況 | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 開放性が阻害されていること。 |
| (21) | 特階階 | 令第号る一にニう付単室う造の況第3にバ(「一。室に」。及確第3にル以バ」)(「と)び保ま立下ルと又以付いの面の条1すニ単コいは下 構積状 | 設は、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 令項第適つ性ぼわ合1第か又る部及除条規れ避影繕いっら第12の第(1用、能すれに号1らは出分びきの定、難響等なて第1号規1令項さ階に修てあ、号バ付入に第、2がか安をがいは3号を定条1規、難響等なて2(コににる号1用、性ぼわ合1まびく適第9定か安をがいは号屋ニ通係。号1項さ全能すれに号で第。合3条が 全及行場第、内一ずる)を9の 館に修てあか、第)し |

| | | | | | ないこと。 |
|------|-------|-----|---|----------------------------|--|
| (22) | | | 階段室 で を で で で で で の が に の が に の に に の に に に に に に に に に に に に に | 目視等及び設 計図書等によ り確認する。 | 排煙設備が設置されていないこと。 |
| (23) | | | 付室等の外 気に向かっ て開くこと ができる の状況 | 目視等及び作動により確認する。 | 外気に向かってき 開くことが開閉しな る窓ととと いことり排煙により によりあること。 |
| (24) | | | 物品の放置の状況 | 目視等により確認する。 | バルコニー又は 付室に物品が放 置されているこ と。 |
| (25) | 排煙設備等 | 防煙壁 | 防煙の状況 | 設計の書等にある。 | 令のなしの定か安をがい12規れ難響等な第1用全能すれを第規い、6がつ全及行場9定、安をがい1項さ館に修て除1定こ令第適、性ぼわ合条がか全及行場9のれ避影繕いく条適。1項さ画に修て令1用、能すれ又の定か安をがい条適。1項さ画に修て令1用、能すれ又の定か安をがいると第1用区能すれ、第適つ性ぼわ合条規、難響等な。 |

| (26) | | | 防煙壁の劣 化及び損傷 の状況 | 目視等により確認する。 | 防煙壁に亀裂、 破損、変形等が あること。 |
|------|------|------------------|------------------------------|--|---|
| (27) | | 排煙設備 | 排煙設備の設備の状況 | 目視等及には、おりのでは、おりのでは、おりのでは、おりのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 令又条にと第1用区能すれ合第適つ性ぼわ合条規れ避影繕いく12年1合た8のれ避影繕い令項さ階に修ては2がか安をがい26例項しだ条規、難響等な第のれ避影繕い令第適つ全及行場条第のなしの定か安をがい1規、難響等な第1用、性ぼわ合条第のなしの定か安をがい1規、難響等な第1用、性ぼわ合24定こ令第適、性ぼわ 条が 全及行場9の 館に修て除 |
| (28) | | | 排煙口の維 持保全の状 況 | 目視等により 確認するとと もに、開閉を 確認する。 | 排煙口が開閉し ないこと又は物 品により排煙に 支障があるこ と。 |
| (29) | その他の | 非常用 の進入 口等 | 非常用の進 入口等の設 置の状況 | 目視等及び設 計図書等によ り確認する。 | 令第 126 条の 6 又は第 126 条の 7 の規定に適合 しないこと。 |
| (30) | 設備等 | | 非常用の進 入口等の維 持保全の状 況 | 目視等により確認する。 | 物品が放置され 進入に支障があること。 |
| (31) | | 非常用エレベ | | 目視等及び設計図書等によ | 令第 129 条の 13 の 3 第 3 項の規 |

| | | | ーター | 第定ロ下ビう造の沢 13すビ「一。及確に乗(降との面の面の面ののでは、 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 | り確認する。 | 定に適合しないこと。 |
|-------|------|------|------------------|---|----------------------------|--|
| | (32) | | | 昇乗(降等うた のでででと) のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | 目視等及び設計図書等により確認する。 | 排煙設備が設置 されていないこ と。 |
| | (33) | | | 乗降の外っと 向くさ 別 で 状 れ で が っ た の が る 窓 の が る の の の た の が る の だ の に る の に る の に る の に る の る の る の る の る | 目視等により 確認するとと もに、開閉を 確認する。 | 外気に向かってき 開窓と対け ることが見り を とり がしな により が に に に に た が に た が し り に り に り に り に り に り に り に り に り に り |
| | (34) | | | 物品の放置の状況 | 目視等により 確認する。 | 乗降ロビーに物 品が放置されて いること。 |
| | (35) | | 非常用 の照明 装置 | 非常用の照 明装置の設 置の状況 | 目視等及び設 計図書等によ り確認する。 | 令第 126 条の 4 又は条例第 14 条第 2 項の規定 に適合しないこ と。 |
| 6 その他 | (1) | 地下街等 | 地又下面建のの下は道す築地部 | 防火区画 | 設計図書等により確認する。 | 条例第73条の 6(条例第73 の18において 準用する場合を 含む。)、第73 条の9又は第73 条の16の規定 に適合しないこ と。 |
| | (2) | | | 地下の構え 又は地する建 に面する地での部分との関 下道との関 | 設計図書等により確認する。 | 条例第 73 条の 4 又は第 73 条 の 15 の規定に 適合しないこ と。 |

| | | | 係 | | |
|-----|--------|-------------------|--------------------------------|---|---|
| (3) | | | 地下道の直 通階段の確 保の状況 | 設計図書等により確認し、又は鋼製巻尺等により測定する。 | 条例第73条の 5又は第73条 の11(条例第 73の18におい て準用する場合 を含む。)の規 定に適合しない こと。 |
| (4) | | | 地下の構えの各部分が多地下の歩きでの歩行を変します。 | 設計図書等により確認する。 | 条例第73条の 7又は第73条 の8の規定に適 合しないこと。 |
| (5) | | | 地下道の地上への開放性の確保の状況 | 設計図書等により確認する。 | 条例第73条の 10(条例第73 条の18におい て準用する場合 を含む。)の規 定に適合しない こと。 |
| (6) | | | 物品の放置の状況 | 目視等により確認する。 | 地下道又は階段(出入口階段からとのでは、一ルを含む。)部分に避難になる物品ではなるないである。と、 |
| (7) | | 地下道 に面す る建築 | 階段ホールの 構造及び幅 | 設計図書等により確認する。 | 条例第73条の 17に適合しない こと。 |
| (8) | | 物の地下の部分 | 物品の放置の状況 | 目視等により確認する。 | 階段ホール部分 に避難に支障と なる物品が放置 されているこ と。 |
| (9) | 特殊な構造等 | 膜建の体付等 | 膜体及び取 付部材の劣 化及び損傷 の状況 | 目確だ内点あっ記認足にる3施記合、よこの場はにあるないよいの場はにるるのはにるるのがはにある。 | 膜体に破れ、雨水貯留、接合部の剥がれ等があること。 |

| (10) | | 膜張力及び ケーブル張 力の状況 | 目確だ内点あっ記認等す、実の場はにるの場はにはいいのではいまればにはいいますがある。またいのではいるのではいる。 | 膜張力又はケーブル張力が低下 していること。 |
|------|------------------------|--------------------------------------|--|---|
| (11) | 免造物震び装置 | 築劣化及び損免傷の状況及(免震装置 | 足目確も内点あっ記認り視認にに検るて録す、実の場はにる。よと年し録に当りはいる。 | 鋼材部分に著しいさび、腐食等があること。 |
| (12) | | 上部構造の可動の状況 | を は い は い に る る に る る に ん に 検 る て 録 す り と に は に る る 、 よ こ に ら 、 よ こ ら 、 よ こ 。 よ る 、 よ る 、 よ る 。 と る る る る る る る る る る る る る る る る る | 上部構造の水平 移動に支障がある状態となっていること又は 害物があること。 |
| (13) | 避雷設備 | 避雷針、避 雷導線等の 劣化及び損 傷の状況 | 目視等により確認する。 | 避雷針又は避雷 導線が腐食、破 損又は破断して いること。 |
| (14) | 煙突 建物 設 る 突 | に び建築物と の接合部の 第化及び損 傷の状況 | 目視等により確認する。 | 煙突本体及び建築物との接合部 に著しいひび割れ、肌分かれ等 があること。 |
| (15) | | 付帯金物の 劣化及び損 傷の状況 | 目視等により確認する。 | 付帯金物に著しいさび、腐食等があること。 |
| (16) | 令 13 条 1 第 | 8 劣化及び損 第 傷の状況 項 | 目視等により確認する。 | 煙突本体に鉄筋 露出若しくは腐 食又は著しいさ び、さび汁、ひ び割れ、欠損等 |

| (17) | 自動転ア | 号掲る突構造 | 付帯金物の 劣化が損 傷の状況 一 が設づるき が 取び駆け ひ駆け ひ | 目視等により 確認する。 設計図書等に より確認す る。 | があること。 アンカーボルト 等に著食、緊結 び、腐食、緊結 不良等があるこ と。 条例第8条の 12、第8条の13 又は第8条の15 |
|------|---|--------|--|--|---|
| (19) | - (例8条7 の規 | 作動 | み防止柵等 の危険防止 装置の設置 状況 自動回転ド | 自動回転ドア | の規定に適合し ないこと。 条例第8条の |
| (19) | の定適すもでりかつ自回ドとて常用てる合限る)ぬに合るのあ、(、動転アし通使しい場に)。 | 作の況 | 野の作動の状況 | 目のすしに例のくり条条条条8定つがあ該てにるる動作る、実第規点、のののの条すいあっ項はよこ。凹動。3施8定検条1111のるてるて目当りと転をた年し条に等例、、、又7項記合、つ記認足F確だ以たの基に第第第第はにほ録に当い録すり7認 内条1づよ8888第規 | RM 10、第8条の 11、第8条の 14、第8条の 14、第8に 14、第8に 17 のは 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 |

| | | | 調査結果表 | | | | | | | |
|------|-----------------|--------------|--|-------|------|-----|-------|------|---|---------|
| | | | 氏 名 | | | | | | 調査者番号 | |
| | | 代表となる調査者 | | | | | | | | |
| 与して | : した調査者 その他の調査者 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 調査結果等 | 担当 |
| 番号 | | 調査 | 項目 | 適用の有無 | 指摘なし | 要是正 | 既存不適格 | 特記事項 | 要是正事項 (既存不適格を含む) 又は特記事項の 具体的内容 | 担当調査者番号 |
| 1 | 敷地及び | 地盤 | | | | | | | | |
| (1) | 地盤 | | 地盤沈下等による不陸、傾斜等の状 況 | | | | | | | |
| (2) | 敷地 | | 敷地内排水の状況 | | | | | | | |
| (3) | | | 敷地内の通路等の確保の状況 | | | | | | | |
| (4) | 敷地内の | 通路等 | 有効幅員の確保の状況 | | | | | | | |
| (5) | | | 敷地内の通路等の支障物の状況 | | | | | | | |
| (6) | 共同住宅 | 三等の主要な出入り口から | 通路等の確保の状況 | | | | | | | |
| (7) | の通路等 | <u> </u> | 通路等の支障物の状況 | | | | | | | |
| (8) | | | 窓先空地又は窓先の空間の確保の状 況 | | | | | | | |
| (9) | 窓先空地及び屋外通路 | | 窓先空地から道路等に至るまでの屋 外通路又は窓先の空間に面するバル コニー等から通ずる直通階段から道 路等に至るまでの屋外通路の確保の 状況 | | | | | | | |
| (10) | | | 窓先空地、窓先空地から道路等に至るまでの屋外通路等、窓先の空間又は窓先の空間に面するバルコニー等から通ずる直通階段から道路等に至るまでの屋外通路等の支障物の状況 | | | | | | | |
| (11) | | | 組積造の塀又は補強コンクリートブ ロック造の塀等の耐震対策の状況 | | | | | | | |
| (12) | 塀 | | 組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況 | | | | | | | |
| (13) | | | 擁壁の劣化及び損傷の状況 | | | | | | | |
| (14) | 擁壁 | | 擁壁の水抜きパイプの維持保全の状 況 | | | | | | | |
| (15) | がけ | | がけの安全上の支障の状況 | | | | | | | |
| (16) | 敷地に直 告板 | 直接設置した広告塔及び広 | 広告塔及び広告板本体の劣化及び損 傷の状況 | | | | | | | |
| (17) | □似 | | 支持部分等の劣化及び損傷の状況 | | | | | | | |
| | その他の特記事項 | | | | | | | | | |
| 2 | 建築物の外部 | | | | | | | | | |
| (1) | 基礎 | | 基礎の沈下等の状況 | | | | | | | |
| (2) | 左 啶 | | 基礎の劣化及び損傷の状況 | | | | | | | |
| (3) | 七台 (木 | :造に限る。) | 土台の沈下等の状況 | | | | | | | |
| (4) | | v/ | 土台の劣化及び損傷の状況 | | | | | | | |
| (5) | 外壁 | く体等 | 外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼 のおそれのある部分の防火対策の状 況 | | | | | | | |
| (6) | | | 木造の外壁く体の劣化及び損傷の状 況 | | | | | | | |

| (7) | 組積造の外壁く体の劣化及び損傷の 状況 | |
|-----|----------------------------------|--|
| (8) | 補強コンクリートブロック造の外壁 く体の劣化及び損傷の状況 | |

(日本産業規格A列4番)

| (13) (14) (15) (16) (17) | ト装仕上げ材等 | 鉄骨造の外壁く体の劣化及び損傷の 状況 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁く体の劣化及び 損傷の状況 タイル、石ばり等(乾式工法によるものを除く。)、モルタル等の劣化及び損 傷の状況 乾式工法によるタイル、石ばり等の劣 化及び損傷の状況 金属系パネル(帳壁を含む。)の劣化 | | | | |
|--|---|--|----------|--|--|--|
| (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) | ト装仕上げ材等 | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁く体の劣化及び 損傷の状況 タイル、石ばり等(乾式工法によるものを除く。)、モルタル等の劣化及び損傷の状況 襲式工法によるタイル、石ばり等の劣化及び損化及び損傷の状況 | | | | |
| (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) | ト装仕上げ材等 | 損傷の状況 タイル、石ばり等(乾式工法によるものを除く。)、モルタル等の劣化及び損傷の状況 乾式工法によるタイル、石ばり等の劣化及び損化 | | | | |
| (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) | ト装仕上げ材等 | のを除く。)、モルタル等の劣化及び損傷の状況 乾式工法によるタイル、石ばり等の劣 化及び損傷の状況 | | | | |
| (13) (14) (15) (16) (17) (18) | ト装仕上げ材等 | 乾式工法によるタイル、石ばり等の劣 化及び損傷の状況 | | | | |
| (14) (15) (16) (17) (18) (18) | | 金属系パネル(帳壁を含む。)の劣化 | | | | |
| 15) 16) 17) 4 18) | | 及び損傷の状況 | | | | |
| 16) 17) (18) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4 | | コンクリート系パネル (帳壁を含む。) の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| 〔18〕 「新 | はサッシ等 こうしゅう | サッシ等の劣化及び損傷の状況 はめ殺し窓のガラスの固定の状況 | | | | |
| 18) | ト壁に緊結された広告板、空 | 機器本体の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| / 1その他の | 周室外機等 | 支持部分等の劣化及び損傷の状況 | <u> </u> | | | |
| | | | | | | |
| 3 屋上及び | | | | | | |
| (1) 屋上面 | | 屋上面の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (2) | | パラペットの立上り面の劣化及び損 傷の状況 | | | | |
| | (屋上面を除く。) | 笠木モルタル等の劣化及び損傷の状 況 | | | | |
| (4) | l de la companya de | 金属笠木の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (5) | | 排水溝(ドレーンを含む。)の劣化及び 損傷の状況 | | | | |
| (6) (7) 屋根 | | 屋根の防火対策の状況 屋根の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (0) | | 産扱の劣化及い損易の状況 機器、工作物本体及び接合部の劣化及 び損傷の状況 | | | | |
| (9) 告塔等) | | 支持部分等の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| その他の | 特記事項 | | | | | |
| 4 建築物の | 内部 | | | | | |
| | ・ 第112条第11項から第13項 | までに規定する区画の状況 | | | | |
| (2) | | 5項又は第7項から第10項までの各項 | | | | |
| | う第112条第18項等に規定する | | | | | |
| (4) 防火区 第 | ※例第八条に規定する区画の | | | | | |
| (5) 画 | ちょく マボッグ 国郊 | 令第112条第16項に規定する外壁等及 び同条第17項に規定する防火設備の 処置の状況 | | | | |
| (6) | | 令第112条第16項に規定する外壁等及 び同条第17項に規定する防火設備の 劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (7) | | 木造の壁の室内に面する部分のく体 の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (8) | | 組積造の壁の室内に面する部分のく 体の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| する部 | 人体等 | 補強コンクリートブロック造の壁の 室内に面する部分のく体の劣化及び 損傷の状況 | | | | |
| 分(10) | | 鉄骨造の壁の室内に面する部分のく 体の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (11) | | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コ ンクリート造の壁の室内に面する部 分のく体の劣化及び損傷の状況 | | | | |

| (12) 準耐火性能等の確保の状況 準耐火性能等の |
|--|
| |
| (13) 部材の劣化及び損傷の状況 |
| 耐火構造の壁又は準耐火構 造の壁(防火区画を構成する 壁等に限る。) 鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状 況 |
| (15) 給水管、配電管その他の管又は風道の 区画貫通部の充填等の処理の状況 |
| (16) 令第114条に規定する界壁、 令第114条に規定する界壁、間仕切壁 |
| 令第128条の5各項等に規定 する建築物の壁の室内に面 する部分 |
| (18) 木造の床く体の劣化及び損傷の状況 |
| (19) 鉄骨造の床く体の劣化及び損傷の状 況 |
| (20) 床 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床く体の劣化及び損傷の状況 |
| (21) 準耐火性能等の確保の状況 |
| (22) 耐火構造の床又は準耐火構 造の床(防火区画を構成する |
| (23) 成に限る。) |
| (24) 室内に面する部分の仕上げの維持保 令第128条の5各項等に規定 全の状況 |
| (25) 天井 する建築物の天井の室内に 面する部分 室内に面する部分の仕上げの劣化及 び損傷の状況 |
| (26) 特定天井 特定天井の天井材の劣化及び損傷の 状況 |
| 図画に対応した防火設備又は戸の設 置の状況 |
| 居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況 |
| 昭和48年建設省告示第2563号第1第 1号ロに規定する基準への適合の状 況 |
| (30) 防火設備(防火扉、防火シャッター 防火扉又は戸の開放方向 その他これらに類するものに限る。 |
| 以下この表において同じ。) 又は戸 (31) (令第112条第19項第2号に掲げる 及び大設備又は戸の本体と枠の劣化 |
| (32) 「この表において同 各階の主要な常時閉鎖若しくは作動 した状態にある防火設備又は戸の閉 |
| (33) 鎖若しくは作動の状況 常時閉鎖若しくは作動した状態にあ る防火設備又は戸の閉鎖若しくは作 動の障害となる物品の放置並びに照 |
| 明器具及び懸垂物等の状況 常時閉鎖した状態にある防火扉又は 戸の固定の状況 |
| (35) 各階の主要な常時閉鎖した状態にある防火扉の取付の状況 |
| (36) 照明器具、懸垂物等 照明器具、懸垂物等の落下防止対策の 状況 |
| (37) 警報設備の設置の状況 (38) 警報設備の劣化及び損傷の状況 |

| (39) | スプリンクラー設備(令和6年国土 | | | | | |
|------|--|----------------------------------|--|--|--|--|
| (40) | 交通省告示第284号第1第1号又は 第2号ニに規定するスプリンクラー 設備) | | | | | |
| (41) | | 採光のための開口部の面積の確保の 状況 | | | | |
| (42) | | 採光の妨げとなる物品の放置の状況 | | | | |
| (43) | 居室の採光及び換気 | 換気のための開口部の面積の確保の 状況 | | | | |
| (44) | | 換気設備の設置の状況 | | | | |
| (45) | | 換気の妨げとなる物品の放置の状況 (自然換気設備に限る。) | | | | |

(日本産業規格A列4番)

| (49) | (, a) | | | | | | | | |
|--|---------|--------------|---|----------------|----------|--|----------------|---|---|
| 440 (47) (47) (48) (49) | (, a) | | | | | | | | |
| 247 | (46) | | | | | | | | |
| (47) | (40) | | | | | | | | |
| (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) (49) | | | | | | | | | |
| (49) (24) (24) (24) (24) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25 | (47) | 石綿等 | を添加した建築材料 | - | | | | | |
| (49) による減極的止害の実施の状況 | | | | | | | | | |
| (49) 田小込み又は封じ込めによる景歌時 上接徳の劣化及び損傷の状況 | (48) | | | | | | | | |
| 上書屋の劣化及び損傷の状況 | (10) | 1 | | | | | | | |
| 1 | (49) | | | 止措置の劣化及び損傷の状況 | | | | | |
| (1) 令第120条第2項に規定する通路等 | | その他の | の特記事項 | | | | $\overline{/}$ | | |
| (2) (3) 施下 (4) (4) (5) (6) 出入口等 (6) 出入口等 (6) 出入口等 (7) 屋上広場 (8) 屋上広場の確保の状況 (8) 屋上広場の (8) を発表している (8) を表えている (8) を表えてい | 5 | 避難施 | 投 等 | | | | | | |
| (2) (3) 施下 (4) (5) (6) (6) (7) (8) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (11) (11) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (18) (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19 | | | | | | | | | |
| (3) 郎下 行き止まり廊下の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 物品の放置の状況 産上広場 屋上広場 屋上広場の確保の状況 避難上有効なバルコニー及び避難上 有効なバルコニールら直通階段まで 安全に避難できる避難経路 (条例第19条第3項を適用するものに限る。)の確保の状況 手すり等の劣化及び損傷の状況 動品の放置の状況 が品の放置の状況 が品の放置の状況 類様 できる 避難経路の確保の状況 (条例第19条第 3 項を適用するものに限る。)の 確保の状況 が品の放置の状況 (条例第19条第 3 項を適用するものに限る。)の 確保をの状況 (条例第19条第 3 項を適用するものに限る。) を確難異異の機体性の確保の状況 (条例第19条第 1 | (1) | 令第120 | 条第2項に規定する通路等 | | | | | | |
| (4) 物品の放置の状況 (5) 出入口等 | (2) | | | 幅の確保の状況 | | | | | |
| (4) 物品の放置の状況 (5) 出入口等 | (3) | nt= | | 行き止まり廊下の状況 | | | _ | | |
| (6) 出入口等 出入口等 地点の旅便の状況 物品の放置の状況 | | 郎ト | | | | | | | |
| (6) 出入口等 物品の放置の状況 屋上広場の確保の状況 屋上広場の確保の状況 屋上広場の確保の状況 選難上有効なバルコニー及び避難上 有効なバルコニーから直通路段まで安全に避難できる避難経路 (条例第19条第3項を適用するものに限る。)の 確保の状況 事ずり等の劣化及び損傷の状況 物品の放置の状況 避難器具等の設置の状況 避難器具等の設置の状況 (条例第19条第3項を適用するものに限る。)。 (12) 避難器具の操作性の確保の状況 (条例第19条第3項を適用するものに限る。) 健康器具の操作性の確保の状況 (条例第19条第3項を適用するものに限る。) | (4) | | | 物品の放置の状況 | | | | | |
| (6) 物品の放置の状況 屋上広場 屋上広場の確保の状況 産上広場の確保の状況 産上広場の確保の状況 産産に避難と有効なバルコニー及び避難と 有効なバルコニー及び避難と 有効なバルコニー及び避難と 有効なバルコニー及び避難と 有効ながルコニー を発きる避難経路 (条例第19 条第3項を適用するものに限る。) の | (5) | шты | | 出入口等の確保の状況 | | | | | |
| (8) 遊離上有効なパルコニー及び避難上 有効なパルコニーから直通階段まで 安全に避難できる避難経路(条例第19 条第3項を適用するものに限る。)の 確保の状況 手すり等の劣化及び損傷の状況 遊離器具等の設置の状況及び器具等 から直通階段まで安全に避難できる 遊離経路の確保の状況 (条例第19条第 3項を適用するものに限る。) 避難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 階段 屋外に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 屋外に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 (20) (21) (22) 特別避難階段 アスピー (23) (24) (25) (25) (26) (27) (27) (28) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29 | (6) | 四八口: | 寺 | 物品の放置の状況 | | | | | |
| (8) 遊離上有効なパルコニー及び避難上 有効なパルコニーから直通階段まで 安全に避難できる避難経路(条例第19 条第3項を適用するものに限る。)の 確保の状況 手すり等の劣化及び損傷の状況 遊離器具等の設置の状況及び器具等 から直通階段まで安全に避難できる 遊離経路の確保の状況 (条例第19条第 3項を適用するものに限る。) 避難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 階段 屋外に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 屋外に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 (20) (21) (22) 特別避難階段 アスピー (23) (24) (25) (25) (26) (27) (27) (28) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29) (29 | (-) | H 1 .1. | | | | | | | |
| (8) | (7) | 屋上広場 | | | | | | | |
| (8) 安全に避難できる避難経路(条例第19 条第3項を適用するものに限る。)の確保の状況 (9) (10) 避難上有効なバルコニー 物品の放置の状況 避難器具等の設置の状況及び器具等から直通階段まで安全に避難できる避難経路の確保の状況 (44) (15) (16) (17) (18) (19) 階段 屋内に設けられた避難階段 医内に設けられた避難階段 医内性内脏 (19) 階段 室の構造の確保の状況 医内と階段との間の防火区画の確保の状況 原放性の確保の状況 医内に設けられた避難階段 医内間の防火区画の確保の状況 (23) (24) (25) 特別避難階段 (10) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25 | | | | | | | | | |
| (9) (10) 避難上有効なバルコニー (11) 避難上有効なバルコニー (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 路段 屋外に設けられた避難階段 (20) (21) (22) (23) (24) (24) (25) | (0) | | | | | | | | |
| (9) (10) (10) (11) (11) (11) (11) (12) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (19) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) | (8) | | | | | | | | |
| (9) (10) 避難上有効なバルコニー | | | | | | | | | |
| (10) | (0) | | | | | | | | |
| (11) 避難器具等の設置の状況及び器具等から直通階段まで安全に避難できる避難経路の確保の状況(条例第19条第3項を適用するものに限る。) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (19) (19) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (24) (25) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (24) (25) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (27) (28) (29) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (27) (28) (29) (20)<td>` ′</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> | ` ′ | | | | | | | | |
| (11) から直通階段まで安全に避難できる 避難経路の確保の状況(条例第19条第 3項を適用するものに限る。) 避難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (16) (17) (18) (18) (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19) (19 | (10) | 1 | | | | | | | |
| (11) 避難経路の確保の状況 (条例第19条第 3項を適用するものに限る。) 避難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (17) (18) (18) (19) 階段 屋内に設けられた避難階段 (19) 階段 屋外に設けられた避難階段 (19) 階段 屋外に設けられた避難階段 (19) 下沙田 | | | | | | | | | |
| 3 項を適用するものに限る。) 選難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 階段 | (11) | | | | | | | | |
| (12) 避難器具の操作性の確保の状況 (13) (14) (15) (16) (17) (18) 屋内に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 (19) 階段 (20) (21) (22) 特別避難階段 (23) (24) 特別避難階段 (25) ドウス (25) 「防煙区面の設置の状況 (25) 「防煙区面の設置の状況 (26) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (27) 「防煙区面の設置の状況 (28) 「大変区の対況 (29) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (29) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (20) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (21) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (22) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (23) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 (24) 「大変等の外気に向かって関くことができる窓の状況 | | | | | | | | | |
| (13) 直通階段の設置の状況 (14) (15) (15) 手すりの設置の状況 (17) (18) (19) 屋内に設けられた避難階段 (20) 屋内に設けられた避難階段 (21) 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況 (21) ボルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 村室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (23) 特別避難階段 (24) 防煙区画の設置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (12) | | | | | | | | |
| (14) (15) 幅の確保の状況 事すりの設置の状況 (16) 物品の放置の状況 (17) 階段各部の劣化及び損傷の状況 (18) 屋内に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 (19) 屋外に設けられた避難階段 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況 (20) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (21) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 特別避難階段 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 特別避難階段 財産等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | | | | | | | | | |
| (15) (16) (17) (18) (19) 階段 屋内に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 | | † | | | | | | | |
| (16) (17) (18) 屋内に設けられた避難階段 (19) 階段 (20) 屋外に設けられた避難階段 (21) 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況 (21) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 行室等の排煙設備の設置の状況 (23) 特別避難階段 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | | 1 | | | | | | - | |
| では、 | | - | 作+X | | | | | - | |
| (18) 屋内に設けられた避難階段 階段室の構造の確保の状況 (19) 歴外に設けられた避難階段 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況 (20) 開放性の確保の状況 (21) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 防煙区画の設置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | | - | | | | | | | |
| 「日子」 | | - | | ,, | | | | | |
| (19) 階段 屋外に設けられた避難階段 の状況 (20) 開放性の確保の状況 (21) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (18) | _ | 屋内に設けられた避難階段 | | | | | | |
| (20) 関放性の確保の状況 (21) (21) (22) 特別避難階段 (23) (23) (24) (25) (25) (24) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27) (27 | (19) | 階段 | | | | | | | |
| (21) バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 (22) 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | | 屋外に設けられた避難階段 | | | | | | | |
| (21) の確保の状況 (22) 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (20) | | | - | | | | | |
| (22) 特別避難階段 付室等の排煙設備の設置の状況 (23) 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (21) | | | | | | | | |
| (23) 特別避難階段 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (22) | 1 | | | | | | | |
| (23) できる窓の状況 (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | | 1 | 特別避難階段 | | | | | | - |
| (24) 物品の放置の状況 (25) 防煙区画の設置の状況 | (23) | | | | | | | | |
| (25) 防煙区画の設置の状況 | (24) | 1 | | | | | | | |
| | (25) | | 7七届晚 | 防煙区画の設置の状況 | | | | | |
| Coo 排煙設 防煙壁 防煙壁の劣化及び損傷の状況 | (26) | 排煙設 | 別 煙壁 | 防煙壁の劣化及び損傷の状況 | | | | | |
| (27) 備等 排煙設備の設置の状況 | | <u>-</u> 1 | | | | | | | |
| (28) 排煙設備 排煙設備 排煙口の維持保全の状況 | (/ | † | 排煙設備 | | | | | | |
| | / | <u> </u> | | 2.02 | <u> </u> | | | | |

| (29) | | | 非常用の進入口等の設置の状況 | | | | |
|-------|---------------|-----------------------|---------------------------------------|----------|----------|--|----------|
| (30) | | 非常用の進入口等 | 非常用の進入口等の維持保全の状況 | | | | |
| (0.1) | | | 乗降ロビーの構造及び面積の確保の | | | | |
| (31) | その他 | | 状況 | | | | |
| (32) | の設備 | | 乗降ロビー等の排煙設備の設置の状 | | | | |
| (32) | 等 | 非常用エレベーター | 況 | | | | |
| (33) | | | 乗降ロビー等の付室の外気に向かっ | | | | |
| | | | て開くことができる窓の状況 | | | | |
| (34) | | | 物品の放置の状況 | | | | |
| (35) | | 非常用の照明装置 | 非常用の照明装置の設置の状況 | | | | |
| | その他の | の特記事項 | | | | | |
| 6 | その他 | | | | | | |
| (1) | | | 防火区画 | | | | |
| (0) | | | 地下の構え又は地下道に面する建築 | | | | |
| (2) | | | 物の地下の部分と地下道との関係 | | | | |
| (3) | | 地下街又は地下道に面する | 地下道の直通階段の確保の状況 | | | | |
| (4) | | 建築物の地下の部分 | 地下の構えの各部分から地下道等ま | | | | |
| (4) | 地下街等 | ~E*™~>≠□ I «>Ψ/Л | での歩行距離の状況 | | | | |
| (5) | 4 | | 地下道の地上への開放性の確保の状 | | | | |
| | | | 況 | | | | |
| (6) | | | 物品の放置の状況 | | | | |
| (7) | | 地下道に面する建築物の地 | | | | | |
| (8) | | 下の部分 | 物品の放置の状況 | | | | |
| (9) | 膜構造建築物の膜体、取付部 | | 膜体及び取付部材の劣化及び損傷の | | | | |
| | 材等 | | 状况 | | | | - |
| (10) | 特殊な | | 膜張力及びケーブル張力の状況 | | | | |
| (11) | 推进公 | 免震構造建築物の免震層及 び免震装置 | 免震装置の劣化及び損傷の状況(免 | | | | |
| (11) | | | 長装直が可視状態にめる場合に限 る。) | | | | |
| (12) | の発展装直 | | 上部構造の可動の状況 | | | | |
| | | | 避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の | | | | |
| (13) | 避雷設值 | 備 | 状況 | | | | |
| (1.1) | | | 煙突本体及び建築物との接合部の劣 | | | | |
| (14) | | 建築物に設ける煙突 | 化及び損傷の状況 | | | | |
| (15) | 煙突 | | 附帯金物の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (16) | | | 煙突本体の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| (17) | | げる煙突 | 附帯金物の劣化及び損傷の状況 | | | | |
| | 自動回 | | | | | | |
| | 転ドア | | | | | | |
| | (条例 | | 併乳子で白科学引も言及が照けてき | | | | l |
| (12) | 第八条 の七の | 構造 | 併設する自動式引き戸及び駆け込み 防止さく等の危険防止装置の設置の | | | | |
| | 規定に | — | 切正さく等の危険的正装直の設直の 状況 | | | | l |
| | 適合す | | יייייטי | | | | |
| | るもので あ | | | | | | |
| | じめか | | | | | | |
| | つ、自 | | | | | | |
| | 動回転 | | | | | | |
| | ドアと して通 | | | | | | |
| (19) | | 作動の状況 | 自動回転ドアの作動の状況 | | | | |
| | してい | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | |
| | る場合に 限 | | | | | | |
| | に 限る。) | | | | | | |
| Щ_ | -0/ | | | <u> </u> | <u> </u> | | |

| その化 | 也確認事項 | | | | |
|-----|------------|----------------|---------------------|--------------|--|
| 法第1 | 2条第3項の規定によ | る検査を要する防火設備の有無 | Ę | | |
| □有(| 階) 口無 | | | | |
| 改善う | 产定状況等 | | | | |
| 番号 | | 調査項目 | 改善策の具体的内容又は改善できない理由 | 改善(予定) 年月 | |
| | 中項目 | 小項目 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、東京都建築基準法施行細則別記第四号様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、 「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その 他の調査者欄は記入不要です。
- ④ 「適用の有無」欄は、該当する調査項目について〇印を記入してください。
- ⑤ 「調査結果等」欄は、別表(い)欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果等」欄のうち「要是正」欄は、別表(い)欄に掲げる調査項目について(は)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を 記入してください。
- ⑦ 「調査結果等」欄のうち「特記事項」欄は、別表(い)欄に掲げる調査項目について、要是正の指摘がない場合でも特記すべき事項がある場合に、○印を記入してください。
- ⑧ 「調査結果等」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥又は⑦いずれにも該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「調査結果等」欄のうち「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「調査結果等欄」のうち「要是正事項(既存不適格を含む)又は特記事項の具体的内容」欄は、当該調査項目について「要是正」又は「特記事項」欄に○印を記入した場合に、その具体的内容を記入してください。
- ① 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入不要です。
- ② 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備(防火ダンパーを除く。)の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
- ③ 「改善予定状況等」欄は、調査の結果、要是正の指摘又は特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を 記入し、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容又は改善できない理由」欄にその内容を記 入するとともに、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予 定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。また、改善できない理由がある場合には「改善策の具体的内容又は改善でない理由」欄にその内容を記入してください。
- ④ 配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘(特記すべき事項を含む。)のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してください。
- ⑤ 要是正とされた調査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。
- 16 付近見取図を添付してください。

(日本産業規格A列4番)

| | 番号 | 調査項目 |
|--|--------------|---------------------|
| | 1 | 敷地及び地盤 |
| | (1) | 地盤 |
| | (2) | 敷地 |
| | (3)から(5)まで | 敷地内の通路等 |
| | (6)及び(7) | 共同住宅等の主要な出入り口からの通路等 |
| | (8)から(10)まで | 窓先空地及び屋外通路 |
| | (11)及び(12) | 塀 |
| | (13)及び(14) | 擁壁 |
| | (15) | がけ |
| | (16)及び(17) | 敷地に直接設置した広告塔及び広告板 |
| | 2 | 建築物の外部 |
| | (1)及び(2) | 基礎 |
| | (3)及び(4) | 土台(木造に限る。) |
| | (5)から(18)まで | 外壁 |
| | 3 | 屋上及び屋根 |
| | (1) | 屋上面 |
| | (2)から(5)まで | 屋上周り(屋上面を除く。) |
| | (6)及び(7) | 屋根 |
| | (8)及び(9) | 機器及び工作物(冷却塔設備等) |
| | 4 | 建築物の内部 |
| | (1)から(6)まで | 防火区画 |
| | (7)から(17)まで | 壁の室内に面する部分 |
| | | |
| | (18)から(23)まで | 床 |
| | (24)から(26)まで | |
| | (27)から(35)まで | 防火設備又は戸 |
| | (36) | 照明器具、懸垂物等 |
| | (37)及び(38) | 警報設備 |
| | (39)及び(40) | スプリンクラー設備 |
| | (41)から(45)まで | 居室の採光及び換気 |
| | (46)から(49)まで | 石綿等を添加した建築材料 |
| | 5 | 避難施設等 |
| | (1) | 令第120条第2項に規定する通路等 |
| | (2)から(4)まで | 廊下 |
| | (5)及び(6) | 出入口等 |
| | (7) | 屋上広場 |
| | (8)から(12)まで | |
| | (13)から(24)まで | |
| | (25)から(28)まで | |
| | (29)から(35)まで | |
| | 6 | その他 |
| | (1)から(8)まで | 地下街等 |
| | (9)から(12)まで | 特殊な構造等 |
| | (13) | 避雷設備 |
| | (14)から(17)まで | 煙突 |
| 注)配置図及び各階平面図を添付し、防火区画、指摘のあった箇所(特記すべき事項を含む。)や撮影した写真の位置等を明記すること。 | (18)及び(19) | 自動回転ドア |
| | | |